

# TOREK 自然農法 ホットニュース

第 163 号 2011. 11. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

## 貧血も血糖値も！自然農法で改善

千葉市 森 善雄



今年の 4 月末から畑を借りられることになり、自然農法の実践が始まりました。そして初めて農産展に出品することができ、さらに自然農法が楽しく感じられてきました。オクラ、ナス、チンゲン菜、コマツナなどに挑戦し、ミニトマトは一株を支柱で囲む栽培で一株 1000 個以上の収穫があり、今なお出来ています。そして、とれたての自然農法の野菜をたくさん食べられることにより、気付いたことがあります。

私は仕事上、洋菓子工場で働いていますので、甘いものをよく食べる習慣がついていて、甘党でもあり、仕事以外でも食べることもあって、5、6 年前には糖尿の心配がありました。ところが、毎年行われる会社の健康診断の結果が良くなっています。

また数年前までは、赤血球の数値が一般男性に比べて低いと指摘されていました。事実、貧血ぎみのときもあり、レバーや肉類を多くとるようにと指導を受けていましたが、今の野菜中心の食生活を変えることなく過ごしていました。すると、今年 9 月の健康診断の結果、赤血球の数値が上がり、血糖値もまったく問題ない数値になっていました。視力を除いてオール A の判定でした。

## お米の年間予約と各地の様子

自然農法普及員 野中康次



自然農法稲作生産者の収穫期を迎え、10 月より年間予約が始まり、色々な土地の自然米を食べられるようになりました。生産者から多くの方の手元に、それぞれ思いのこもったお米が届き、命を頂ける自然農法がさらに広がっていくと思います。私は TOREK 自然農法普及員として、今年度も生産現場訪問で生産体験をし、流通を通して消費者の方々に関わってきました。その中から最近の生産者訪問の様子をお伝えします。

### ● 10/17 兵庫県ひのた農場、畑 匡昭(まさあき)さん (※年間予約受付中)

自然 3 年目の田(TOREK 用約 2 反)と畔向かいの自然 6 年目の田で、ポット苗とマット苗の比較ができました。田植え直後は明らかにポット苗が優勢でしたが、除草できれば土年数のため 6 年目マット苗のほうが良い状態になり、畑さんは「土の力を感じる」と言っていました。昨年の酒米も、慣行農法は猛暑で収穫、品質の落ち込む中、自然農法はずばらしい結果でした。今年は全体的に良く、喜びで農作業する畑さんの姿が物語っていました。TOREK 用「朝日」は晩生で、11 月まで稲刈があります。

### ● 10/18 石川県よしたい農園、森 真吾さん (※年間予約受付中)

森農園はポット式育苗の稲作があっているようで、苗から完全無施肥に近年移行できると思います。周囲からも「今年をよく出来ている」「一人でよくやっている」と無施肥での稲作と、個人の作業する様子を、今年面積が増えた中で認めてもらえているようです。昨年の不作があり、今年の良い状態に共に笑顔で話ができることに大変感謝いたしました。

### ● 10/19 福井県の富田善嗣(よしつぐ)さん

北陸はこの季節に珍しくよく雨が降り、稲刈りが思うようにはかどらないようでした。除草はとても頑張りましたが、ヒエによる生育過程の妨害で、分けつや穂の付きも伸び悩む状態です。ポット苗での試験田はかなりよく出来ています。初期に深く水を張り、雑草を抑えられるポット苗での稲作がやはりあるようです。ポット式田植え機を持っているのですが、マット苗でもより良い収穫に達するようにしたいと、来年はどちらを採用するか検討しているようです。最近、甲状腺の病で食をとれない方が、富田米をおいしく食べられた話を伝え、共に再度、自然農法の意味を実感しました。

### ● 10/20 長野県きじま平の堀 政則さん

ミスズモチの 1 番良い田の反収は最高レベルでした。120g 種まきや、田起しから除草まで一貫して

理想通りでき、新たな品種の「蒼龍」も満足の出来でした。きじま平周辺も高温障害でコシヒカリを作り難くなってきたと聞き、来年は広い田で「蒼龍」を栽培したいとのこと。今年、県の農業改良委員の稲担当者が来て、自然の稲を見たことや、村の農家が、化学物質過敏症の人に食べさせたいので自然米を分けてほしいと言ひ、少しお分けできたこと、村人たちから「よくやっている」「よく出来ている」と言われるようになったと、作業の休憩中に話してくださいました。

きじま平でもこの季節よく雨が降り、脱穀がはかどらなかつたが、この日は最高の天候で、大自然の神様に感謝し、二人で予定以上の脱穀ができました。最高のミスズモチの田を見て、触って、刈り取り、ハザガケし、脱穀までできたことは、私自身感動でした。バインダーで刈るときの穂が腿に当たる感触や、刈り取った稲穂の重さをまだ肌で覚えています。堀さんのうれしそうな顔も目に焼き付いています。堀農園のお米の販売は、基本 1 キロと 3 合の小売で多くの方へ渡るようにします。

● 11 月 3 日農産展で、熊本県きくち村 (※年間予約受付中)の代表者、渡辺義文さんと、石川県の山下耕平さんが初めて顔を合わせ、土地は違うが、学んだり、参考になることがあるので、今後交流しよう話し合いました。両者共に今年面積を増やして現場でがんばっていました。

来年は各生産者の収量アップと、他の生産者も増やすべく、新たな現場へ足を運び、多くの方が自然米を求められるように努力しようと、堀さんと話し合いました。(年間予約に関しては本編集部へ)

## 自然農法頒布会と農産展

### ● 10 月 30 日(日) 自然農法頒布会(東中野会場)

堀農園の新米をはじめ、旬の野菜や加工品がいっぱい並べられた会場内を見るとわくわくしました。開店 20 分前に来た女性が、入り口にいた堀さんに自然農法のお話を聞いていました。おにぎりやお味噌汁も食べて、「いい話が聞けてよかった。大事なことは知らせていかなきゃね」とのことでした。また前回来た宅配業者の方が今回も来られ、一度帰って、同僚の方を連れて再び来場しました。スタッフが事前にメールしたところ、「本当にあの野菜はすごいです。本物の野菜は次元が違うんだと、頭を殴られた気がしたのを昨日のように覚えています」と返信があったそうです。味がわかる人は感動も深いですね！



### ● 11 月 3 日(祝) 自然農法農産展

出品者数 70 名、出品数 367 でした。各地の自然農法の稲穂が展示されていて、品種も様々あり、どれも個性的でした。稲穂は田んぼに行かないと見る事ができませんから、貴重な体験です。30 代青年が米作りに挑戦し、4 年目を迎えてがんばっている様子をレポートした掲示を見て感心しました。「お米は主食だから」の言葉に、やっぱり、お米は大事だなと改めて思いました。

恒例のにおい比べもあり、お茶の葉の腐敗実験のにおいを思いきってかいてみました。無肥料のほうは臭い感じがなく、なんとなく唐辛子のような辛そうなおいでしたが、有肥は衝撃的なおいでした。普段こういうお茶を飲んでいるんだと実感しました。生産者がこのような実験結果を見ることで、無施肥無農薬栽培の実施に自信を持てるようになるのではないかと思います。(編集部)



自然農法勉強会	12 月 8 日(木)	午前の部 10:30~ 午後の部 19:00~
お知らせ	自然農法頒布会	12 月 18 日(日) 東中野会場 10:00~ (売り切れ次第終了)
	自然農法頒布会	11 月 28 日(月) 鎌ヶ谷会場 11:00~ (売り切れ次第終了)

## 無施肥無農薬栽培物の販売予定 12 月 3 日 於：伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。 東京都八王子市長房町 57 042-665-6369

- きじま平自然農産：もち米、野沢菜、ハクサイ、カット大根、きじま弁当
- 市川生産グループ：煎茶 ● 長柄山自然農園：卵、鶏ガラ ● 塚塚農園：みそ、ダイコン
- 中島農園：下仁田ネギ、長ネギ、小松菜、ハウレンソウ、ダイコン、ジャガイモ、ニンジン
- ジョリフィーユ：かぼちゃのモンブラン、マドレーヌ、カスタードプリン ほか

お問い合わせ先：編集部 針貝 FAX：03-3369-3324 e-mail：naturefarming@torek.jp  
TOREK 活動のホームページもご覧ください。 http://www.torek.jp